

Ⅲ 2011（平成 23）年度「オープンクラス」実施報告

1. 実施概要

平成 23 年度より、新たに「オープンクラス（公開授業）」を実施した。オープンクラス（公開授業）によって、より質の高い、魅力的な授業を学生へ提供することを基本的な目標とし、他の教員の授業や優れた教授法を参考とすることで、各自の授業改善に活かし、授業内容や授業方法の質の向上を図ることを目標としている。

2011（平成 23）年度 前期

（1）授業名：「生活福祉文化基礎演習Ⅰ」

■ 担当教員：生活福祉文化学部

萩原暢子教授、桐野由美子教授、鳥居本幸代教授、牛田好美准教授
石井浩子准教授、佐藤純准教授、畠山寛講師

■ 実施日時：2011（平成 23）年 6 月 10 日（金）、6 月 17 日（金）、7 月 1 日（金）、
7 月 8 日（金） 3 講時 授業（13:10～14:30）、授業終了後の教員ミー
ティング（14:30～14:40）

■ 授業概要：

本ゼミは本学科 1 年次生必修科目であり、ホームルーム機能を持つ。同時に前期では学生が「読む力・話し合う力・書く力」をつけることを目標とする。各教員は統一された授業計画書に従い、毎週各クラスで同じ内容を教え、授業後に 10 分程度ミーティングを持ち、学生の状況等を話し合う場を持つ。前期の最終目標は全員が大学生としてレポートを書きあげる力を十分につけることにある。

2011（平成 23）年度 後期

（2）授業名：「比較文学講読Ⅱ」

■ 担当教員：人間文化学部人間文化学科 服部昭郎教授

■ 実施日時：2011（平成 23）年 10 月 21 日（金） 4 講時（15:05～16:35）

■ 授業概要：

漱石「倫敦塔」第 2 週

「倫敦塔」のテキストの厳密な読みにひき続き、作品としての特徴を考える。「倫敦塔」は複数の西洋絵画をヒントに書かれたと考えられているが、それは主に英国史の中の有名な 1 シーンを描く歴史画であった。それらの絵画を実際に鑑賞して、漱石の初期作品を比較文学的に分析してみる。

（3）授業名：「教育方法学」

■ 担当教員：心理学部心理学科 神月紀輔准教授

■ 実施日時：2011（平成 23）年 11 月 1 日（火） 2 講時（10:55～12:25）

2. オープンクラスにおける今後の課題と展望

2012(平成24)年3月7日(水)に開催した全学教員研修会にて行われた2011(平成23)年度オープンクラスについて実施したアンケートにより、英語英文学科からは、「英文科の授業が重なっていて参加できなかった」、「評価をすることなしに、教員が自由に入出入りできるオープンクラスと、教務課の管理下にあるモデルクラスとが混同されている」などの感想が出された。人間文化学科からは、「2人の先生がペアになって見学、コメントし合う」、「ある期間、どの授業見学に行っても良いこととしてはどうか」といった意見が出された。また、「英語英文学科に高い評価のものが多く、その授業を公開してほしい」という要望が出された。生活福祉文化学部からは、学生にわかりやすい「授業評価法」のサンプルが欲しいとの要望が出された。心理学部からは、「公開されている授業時間と自分の授業が重なって行けなかった」という意見や「基礎演習について心理学部でも検討中なので、非常に参考になった」との感想が出された。また、公開した教員からは、「教壇からは見えない学生の実態について、参観者から指摘を受けることができた。見学した先生と意見交換したい」との感想が出された。

以上の内容を集約すると、全学的に、オープンクラスについて教員の関心が高まってきていると言える。研修会では、どの学部・研究科においても、来年度に公開可能な授業について積極的に提示されるなど、その意義は、認められている。

しかし公開された授業と担当授業が重なって出席できなかったという感想もあり、検討を要する課題となった。「評価が高い授業の公開」、「授業を公開した教員と参加した教員との対話の場を設ける」などの案は、来年度、検討可能であると思われた。

文責：田中 誉樹（心理学部 教授）